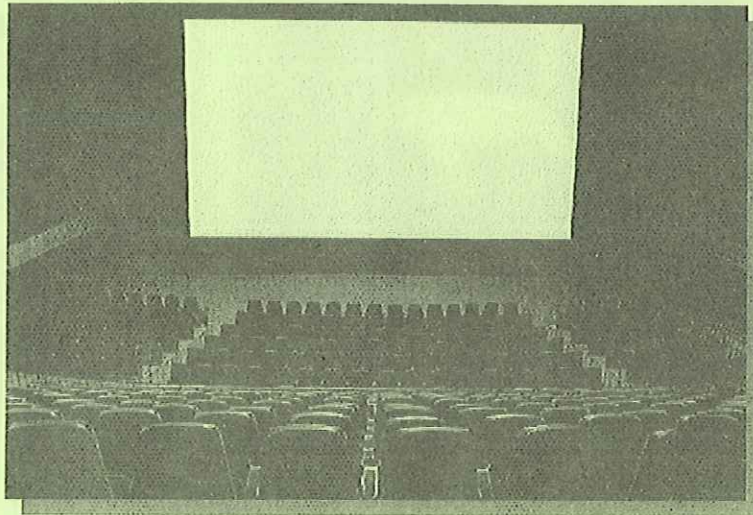


第10回 さかの聴覚障害者映像祭



プログラム

司会：青木 毅^{たかし}（目で聴くテレビ手話キャスター）

- 10:00～ 特別企画「たき火」上映&高正次氏トークショー
12:30～ 映像作品コンクール 応募作品上映（一次審査通過作品）
14:05～ 特別上映「Deaf Jam^{デフ ジャム} 手話の詩^{うた}」
15:30～ トークショー 聞こえない映像作家【大館信広氏・今村彩子氏】
×
聞こえる映像作家【濱口竜介氏】
16:30～ 応募作品 審査発表・表彰式・講評

2014年2月2日(日) 10:00～17:00
龍谷大学アバンティ響都ホール

- 主 催：龍谷大学社会科学研究所労働統合・共生経営研究センター
第10回さかの聴覚障害者映像祭 実行委員会
共 催：映像教育研究会
後 援：一般財団法人 全日本ろうあ連盟
協 賛：社会福祉法人全国手話研修センター
特定非営利活動法人 CS 障害者放送統一機構

■お願い■

ホール内飲食禁止
(ロビーでは飲み物可)

ご協力を
お願いします

1. 特別企画

深川勝三監督作品

たき火

短縮版
上映



■あらすじ■父親のクリーニング店を手伝っていたろう青年は家庭不和の暮らしがいやになり、北海道を飛び出し東京へ向かった。憧れの東京で、田舎者とバカにされた青年は有り金をはたいて服や靴を買い、通り掛りの男に足を踏まれる。そこには靴磨きの若い女性がいる。彼女はろう者だった。これが縁で青年は運命の渦に巻き込まれていく。家族間の葛藤や昭和のろう者の自立と成長を描く。(昭和47年 監督:深川勝三 短縮版編集:おおだてのぶひろ)

「たき火」出演 ^{たか しょうじ}高正次氏

トークショー

「たき火」制作の状況や深川勝三監督について、語っていただきます!



左から1人目 深川監督 左から2人目 高氏

コーディネーター:おおだてのぶひろ 写真提供:睦 聾哑映画保存会

2. 映像作品コンクール 応募作品上映 (一次審査通過作品)

1 「逆転世界」 (14分13秒/2013年)



■編集ソフト: sony Vegas Movie Studio10
■音声:なし

つくばデフムービー

●制作者 Tsukuba Deaf Movie (茨城県)

●作品のテーマ 健聴者がもしろうの世界へ入ったら?

●作品の内容 クラスメートのろう者をからかう主人公は、ある喧嘩に巻き込まれ、ろう者ばかりの世界へ! 仲の良かった友人ですら、ろう者に。音も希望もない。そんな中主人公が見出した道とは…

●プロフィール 映画を作り始めてまだ1年弱の若輩者ですが、先輩方に色々指導していただき作品を仕上げました。今作は私の初監督となる作品ですがよろしくお願ひします。

●コメント ウチら1年生が中心になって先輩たちコキ使って仕上げた作品や! ぜひ見てって一な!



2 「ヤドリギ」 (19分50秒/2012年)



■編集ソフト: Corel VideoStudio12
■音声:あり

にじゅうなななすさんは

●制作者 27+3=

(平成24年度卒業筑波大学附属聴覚特別支援学校聾学校高3学年会)

●作品のテーマ 27+3=が思い描いたろう者の革新

●作品の内容 主人公の宿木誠は聴力を失い転校する。聴力を失ったことで何事にも否定的になり夢が見つからず悩む。そんな時、同じクラスの葵に会い、夢を探していく。誠は果たして、前に進めるのだろうか。

●プロフィール 映画鑑賞が趣味で、月に必ず8本は見る。同様の趣味を持った助監督とタッグを組み、高校1年で初めて監督として映画「れせと」製作に携わる。高2では同じタッグで文化祭委員会のPR映像を製作、高3で高校生活の総まとめとして渾身の映画製作に取り組んだ。

●コメント 私たち聴覚に障害のある高校生にとって、将来のことは大変不安を感じるものです。自分が何ができるのか、何をしたいのかをテーマにし、高校生だからといって妥協せず、いかにどれだけ映画らしく見せるかを研究して、撮影、編集をしました。

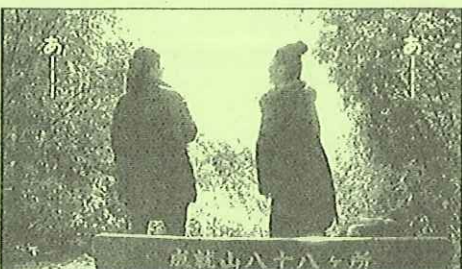
3 「今、僕は死ぬことにした」 (13分 32秒/2013年)



■編集ソフト: Final Cut Pro7
■音声: なし

- 制作者 ^{まきはらえり} 牧原依里 (神奈川県)
- 作品のテーマ 孤独
- 作品の内容 高校生、賢治。耳が聞こえない彼のそばにはいつも蟻がいた。父から愛されることを渴望する、一人の少年のサイレントドラマ。
- プロフィール 2013年から自主映画制作を始める。
- コメント ニューシネマワークショップ在学中に制作した作品です。出演者、スタッフ達が協力してくださったおかげでなんとか形になることができました。まだまだ未熟ですが、このドラマを通して何らかを感じとっていただけると嬉しいです。

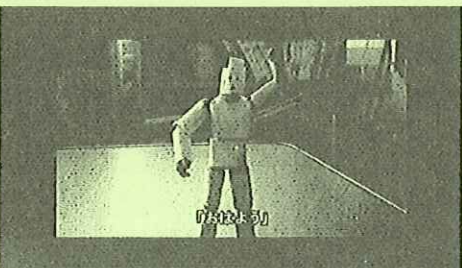
4 「御室物語」 (20分 00秒/2013年)



■編集ソフト: コーレル ビデオスタジオ 12
■音声: あり

- 制作者 ^{ろうほう} 響宝 (京都府)
- 作品のテーマ 異言語の人々の出会いと交流
- 作品の内容 舞台は御室八十八ヶ所。難聴の女性と健聴の女性が出会い一緒に巡礼する。その旅の途中でろう者やアメリカ人と交流していく。言葉は違うけれど、最後には想いが通じ合う人々の小さな物語。
- プロフィール 監督作品「手話刑事」(映像祭 優秀賞) デビュー作
「紡ぐ」(映像祭 優秀賞)、「サテンの女」「わる柿」
献血映画「りょうまとけんけつちゃん」
- コメント 言葉は違ってても想いがあれば通じ合える。そんなテーマでシナリオもそこに撮影現場ではアドリブやその時に生まれた生の感情を大切に撮りました。さてさてどんな仕上がりになったでしょうか…。

5 「小さな5つの物語」 (14分 35秒/2014年)



■編集ソフト: Adobe AfterEffects CS4
■音声: なし

- 制作者 ^{いとうてつや} 伊藤徹也 (大阪府)
- 作品のテーマ もう終わりだと思っても、そこにはきっと始まりがある
- 作品の内容 つまらない毎日を送る男、賢くなりたい男、悲しんでばかりの女、そんな3人に起こる、5つの物語。
- プロフィール 趣味で短編の映像作品、四コママンガの製作等を行っています。ホームページで囲碁のマンガも描いています。興味のある方、よかつたら見てみてください…。 <http://www.asahi-net.or.jp/~hk6t-itu/igo>
- コメント iPhone で手軽に撮影できる短い作品を作ってみよう、というのがきっかけで作りました。これくらいなら自分でも作れそうだな、作ってみようかな、というきっかけになれば嬉しいです。

「会場特別賞」 あなたも審査員！

1~5作品の上映後、
良いと思う作品に1つ
だけ○をつけて、投票
しよう！

発表は
映像祭の
最後です！

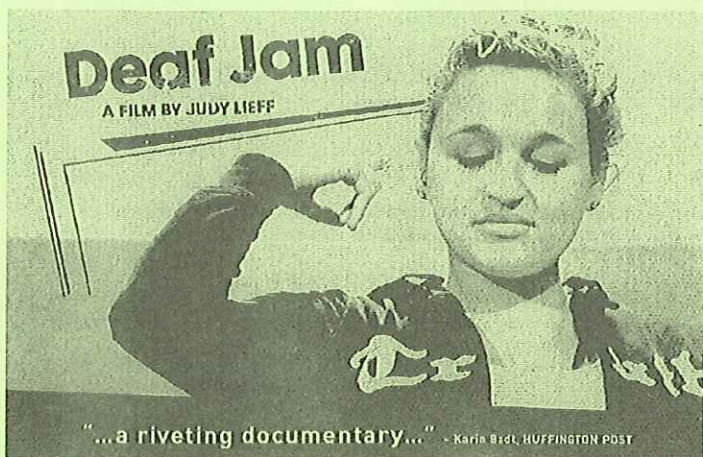


16:30~17:00
審査発表・表彰式
審査員による作品講評

《その他の応募作品》 ビーで上映中！

- ・「三匹の旅」 9分 39秒 / 北海道高等聾学校 専攻科情報デザイン科
- ・「3年B組 銀八先生」 20分 / 和歌山県立和歌山ろう学校
- ・「かみなり医者」 15分 25秒 / 千葉ろう劇団 ^{つくも} 九十九
- ・「あなたの声が見える場所」 16分 41秒 / 手話舞台「箱！」(京都府)
- ・「響の国」 18分 / 松谷 琢也(奈良県)
- ・「ぶ〜&み〜短編集」 14分 15秒 / ぶ〜&み〜企画(岡山県)
- ・「2014 動画年賀状」 1分 20秒 / 関 一哉(群馬県)

3. 特別上映「Deaf Jam 手話の詩」



■あらすじ■ アネタ・ブロッズキーはニューヨーク州クイーンズ区のろう学校に通う、ポップで表情豊かな高校生。世界中を旅しているんな人に会おうのが夢だが、同じ学校のろうの友達しかいない現実に将来の不安を抱えている。課外活動で手話でのパフォーマンス・ポエトリーを習った彼女は、勇気を出して健聴者のポエトリー・スラムに参加する。それを通じてイスラエルからの移民であるアネタはパレスチナ出身のスラムポエットのクハニに出会い、2人は手話と声のパフォーマンス・デュオを組んで活動するようになる。意思の疎通と友情の力が、政治・障害の壁を越える。

★Judy Lieff (ジュディ・リエフ) 監督からのメッセージ★

私はみなさんとこのデフジャムという映画を共有できることにわくわくしています。このプロジェクトを作り上げることは長く面白い旅でした。そして、この映画の主人公アネタ・ブロッズキーとの出会いは素晴らしいものでした。私がデフジャムを作ろうと思ったのは、ロサンゼルスにあるろう高等学校のダンスワークショップを教えに行ったことがきっかけでした。そこで生徒たちが映像で表現するアメリカ手話ポエム(詩)と出会い、魅力的な世界に入り込んでいきました。また、熱意あふれる健聴の10代のポエムイベントにも参加しました。そこでは若者たちが自己表現や政治に対する想いをエネルギーに表しており、この中にろう詩人も参加すれば良いのではと思いました。コミュニケーションや自信は人生の成功の中できわめて重要なものです。聴覚障害に関して学ぶ機会のない健聴者が多いです。そんな聞こえる世界にろう者が入るといった教育体制が中心になっています。この映画が新世代のろう詩人の刺激になり、観客の方々に魅力的な芸術世界への入口になることを願っています。デフジャムを観て下さりありがとうございます。楽しんでいただくと光栄です。



4. トークショー

聞こえない
映像作家

聞こえる
映像作家

トークショー

聞こえる映像作家と聞こえない映像作家の共通の想いや、制作にあたって異なる点は何でしょうか？3人に映像制作について語っていただきます！

進行 横地 由起子(京都シネマ支配人)



大館 信広 おおだてのぶひろ

ろう映画制作グループ「デフムービーエンターテインメントプロディア代表及び監督。1959年7月茨城県生まれ、神奈川県横浜市在住。独学でこれまで代表作「迂路」など20本近くの作品を手掛けており、欧米の映画祭に多く参加している。

濱口 竜介 はまぐちりゅうすけ

1978年、神奈川県生まれ。2008年、東京藝術大学大学院映像研究科の修了制作『PASSION』がサン・セバスチアン国際映画祭や東京フィルメックスに出品され高い評価を得る。その後も毎年、精力的に新作を発表し続けている。



今村 彩子 いまむら あやこ

愛知県出身。愛知県立豊橋聾学校高等部、愛知教育大学教育学部卒業。カリフォルニア州立大学ノースリッジ校留学(映画学科・アメリカ手話・アメリカろう文化を学ぶ)。豊橋聾学校講師を経て、現在、名古屋学院大学と愛知学院大学非常勤講師。さまざまな立場の人が自分らしく輝くことのできる社会をつくってほしいとろう者を取り上げたドキュメンタリー映画を制作。自主上映や講演活動も精力的にこなしている。

■アンケートにご協力ください■

映像祭はいかがでしたか？より充実した映像祭を目指して、今後の参考にさせていただきたく、アンケートのご回答をお待ちしております！後日のFAXでのご回答も嬉しく存じます。